

レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日	平成27年1月1日		
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	化学療法委員会承認年月 平成 26 年 8 月		
レジメン名	5-FU+CDDP(肛門管がん)(ホスアプレビタント)				
疾患名	肛門管がん				
適応分類	進行・再発	適応の備考			
1コース日数	28	日間	総コース数	有効な限り	コース 催吐性リスク day1軽度、day2～高度
抗がん剤投与量・投与日 シスプラチン100mg/m ² day2、5-FU 1000mg/m ² /日 day1-5					

治療スケジュール・投与日程(投与日は●) (day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	側管	生食50mL	1 本 / body	30 分	●																											
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body		●																											
2	側管	フィジオ140輸液500mL	1 本 / body	2 時間		●	●	●	●																							
	点滴静注	フィジオ140輸液500mL	1 本 / body	2 時間		●																										
4	側管	生食250mL	1 本 / body	30 分		●																										
	点滴静注	ホスアプレビタント注150mg	1 本 / body	30 分		●																										
5	側管	ハロ/セトロン注ハック0.75mg50mL	1 本 / body	30 分		●																										
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body			●																										
		デキサート注射液1.65mg/0.5mL	2 本 / body				●																									
6	側管	生食500mL	1 本 / body	2 時間		●																										
	点滴静注	シスプラチン	100 mg / m ²			●																										
7	主ルート	生食500mL	1 本 / body			●	●	●	●																							
	点滴静注	5-FU	500 mg / m ²	12 時間		●	●	●	●																							
8	主ルート	生食500mL	1 本 / body			●	●	●	●																							
	点滴静注	5-FU	500 mg / m ²	12 時間		●	●	●	●																							
9	側管	マンニトール300mL	1 本 / body	1 時間		●																										
	点滴静注	マンニトール300mL	1 本 / body	1 時間		●																										
10	側管	フィジオ140輸液500mL	2 本 / body	4 時間		●																										
	点滴静注	フィジオ140輸液500mL	2 本 / body	4 時間		●																										
11	側管	生食100mL	1 本 / body	30 分				●																								
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body	30 分				●																								
12	側管	生食100mL	1 本 / body	30 分				●	●																							
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	2 本 / body	30 分				●	●																							

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例:Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

- シスプラチン: 希釈は生食のみ。
- シスプラチン: 腎毒性軽減のためhydrationが必要。
- ホスアプレビタントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
- ホスアプレビタントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
- ホスアプレビタントの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。
- シスプラチンと5FUは、同時に投与しない